

かわにし未来ビジョン後期基本計画「KPI一覧」

<令和5年度分>

令和6年5月

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
未来を担うひとづくり	まちづくりを支える 人材の確保・育成	地域おこし協力隊任期終了後の定着者数(累計)	10人	10人	10人	21人	報酬額が県内において最低レベルである。 受入団体とのマッチングに向けて、お試し協力隊制度も含めた周知が必要である。	まちづくり課	1
		総人口に占める39歳以下の人口の割合	30.8%	29.4%	28.3%	31.0%	令和5年度の出生数が45名と近年最低となり、また若年層の転出超過を緩和することができていないため、年々左記数値が減少している。	まちづくり課	2
	人をつなげる交流の 促進	ふるさと納税者数	1,917人	7,964人	9,703人	10,000人	別添「令和5年度川西町ふるさとづくり寄附金」	産業振興課	3
		フレンドリープラザ町外PLA's会員数	175人	197人	310人	235人	新型コロナウイルスが5類に移行し、以前のような事業が開催されたことから会員数の増加に繋がった。	教育文化課	4
	心を豊かにする学びの 促進	町立図書館の町民への図書貸出冊数	19,017冊	20,962冊	22,141冊	20,000冊	1回当たりの貸出冊数を増やすなど利便性の向上に取り組み、目標値を達成した。	教育文化課	5
		出前講座受講者数	1,339人	396人	396人	1,500人	講座の実施が定着しており、校外または自治会での利用が増えている。	教育文化課	6
女性が輝く社会づくり	女性の能力が発揮し やすい環境の整備	新規認定女性農業者数(期間累計)	1人	6人	8人	5人	農業現場での女性の参画が増えてきている。	産業振興課	7
		女性委員を含む審議会・委員会の比率	70.8%	96.2%	96.3%	100%	監査委員のみ女性委員がいないが、議会選出に委ねられる部分もあることから、ほぼ目標を達成している。	まちづくり課	8
	誰もが安心して暮らせる 環境の整備	積極的に育児に参加している父親の割合(乳幼児健診アンケート)	63.5%	74.1%	79.3%	80.0%	R4年度に比べると増加しているが目標値には達しなかった。夜間勤務などの不規則勤務、仕事が忙しく育児時間がとれないといった育児に参加できない理由がきかれた。	健康子育て課	9

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
子どもが夢を持ち健やかに育つ環境づくり	子育て環境の充実	子育て支援センター利用数(0～2歳児)	2,200人	1,318人	1,022人	3,000人	利用数が伸びない理由に、出生数の減少や他市町の子育て支援センターがリニューアルし、そちらの利用が増えたことが考えられる。	健康子育て課	10
		放課後児童クラブ利用児童割合	36.3%	38.8%	42.2%	40.0%	年々、放課後児童クラブの利用率は高まっている。今後は、利用者の負担軽減のみならず、支援員の処遇改善も検討し、子育て環境の充実を今後も推進していく。	教育文化課	11
	地域・家庭・学校が連携した教育の推進	地域学校協働本部ボランティア協力者数	219人	309人	284人	230人	地域・学校・家庭が一体となって子供を育てる体制が求められている。そのような中で、町内の全学校に本部が設置され、学校と地域がともになって進められている。また、本事業を通じて郷土愛の醸成を図っていく。	教育文化課	12
		コミュニティ・スクール数	7校	7校	7校	7校	加入率100%。玉庭小学校の学校運営協議会は小松小学校に令和6年度から移行する。	教育文化課	13
	幼児・児童・生徒の学力の育成	全国学力・学習状況調査における正答率が全国平均以上の科目の達成率(小・中学校)	20.0%	83%	0%	100%	確かな学力定着に向け、授業の改善を図っていく	教育文化課	14
		英検3級合格率(中学3年生)	50.9%	27.6%	20.5%	55.0%	受験率を高めるとともに、1年生から英検合格を意識した授業を実施する。	教育文化課	15
	健やかに育む教育環境の充実	ICT機器を活用して自分の考えや意見を発表できる小学6年生の割合	—	24.0%	44.7%	100%	全国学力調査の児童質問紙の回答とした。今後のICT活用による増加を期待したい。	教育文化課	16

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
生涯現役で生活できる健康元気づくり	心と体の健康づくりの推進	平均自立期間(男性)	78.4歳	79.8歳	79.7歳	80.1歳	高齢化率が39%を超えた当町において、男性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	17
		平均自立期間(女性)	83.7歳	83.5歳	83.7歳	84.0歳	高齢化率が39%を超えた当町において、女性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上、百歳体操の社会参加等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	18
		総合型地域スポーツクラブ登録者数	282人	150人	226人	350人	コロナ明けにより、各種教室の実施が可能になったことにより増加した。	教育文化課	19
	地域医療の充実	平均自立期間(男性)	78.4歳	79.8歳	79.7歳	80.1歳	高齢化率が39%を超えた当町において、男性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	20
		平均自立期間(女性)	83.7歳	83.5歳	83.7歳	84.0歳	高齢化率が39%を超えた当町において、女性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上、百歳体操の社会参加等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	21
		ジェネリック医薬品利用率	82.2%	86.2%	87.9%	90.0%	啓発の効果等により、ジェネリック医薬品の利用率は年々着実に増加してはいるものの、目標値達成のために一層の利用促進の取り組みが必要である。	住民課	22
	地域福祉の推進	生活保護から自立した世帯数(期間累計)	3世帯	5世帯 (R4年度中2世帯解除)	9世帯	15世帯	就労収入及び小作料収入増により生活保護解除となった。	福祉介護課	23
	高齢者福祉の充実	65歳以上で介護認定を受けていない人の割合	81.7%	82.2%	82.4%	82.6%	介護認定率は横ばい傾向にあり、介護予防事業の効果的な実施や保健事業との一体的な実施により高齢者の状態に応じた介護予防・健康づくりの推進が必要である。	福祉介護課	24
		地域サロン数	56箇所	51箇所	52箇所	64箇所	住民主体の通いの場においては、新規に3か所立ち上がった。また、いきいきサロンについては、1か所追加となっている。今後も維持継続に向け、支援を続けていく。	福祉介護課	25
	障がい者(児)福祉の充実	就労支援事業から一般就労へ移行した人数(期間累計)	2人	5人	5人	10人	5名のうち4名は現在も一般就労を継続できている。	福祉介護課	26

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
川西ブランドづくり	地域資源の評価と共有	森のマルシェ来店者数	195,169人	227,029人	253,003人	250,000人	コロナ禍も落ち着いたため、来店者が増加している。	産業振興課	27
		フレンドリープラザ利用者数	20,902人	23,102人	17,969人	25,000人	新型コロナウイルスが5類に移行し、通常の事業実施が可能になったが、利用者の増加にはならなかった。今後は、多様なイベント開催も期待したい。	教育文化課	28
	川西ブランドの構築と活用	米沢牛枝肉A5等級格付率	62.1%	72.6%	81.0%	68.0%	33ヶ月肥育の開始や予防注射の徹底など、肉質向上に向けた取り組みが高い数値となった。	産業振興課	29
		市場に流通する川西オリジナルダリア品種数	6品種	6品種	8品種	11品種	コロナ5類移行で、市場からの需要が拡大し、流通品種も増加した。	産業振興課	30
地域を支える自立したコミュニティづくり	地域づくりの推進	地区経営母体数	7団体	7団体	7団体	7団体	全ての地区に地区経営母体が設置され、地区計画に基づく地域づくりが進められている。	まちづくり課	31
		地域づくり活動実践団体への支援数(期間累計)	2団体	4団体	6団体	10団体	主体的な地域づくり活動の実践が図られている。	まちづくり課	32
	地域コミュニティの維持	自治会未加入世帯数	473世帯	476世帯 (R5.2月末現在)	485世帯	450世帯	ライフスタイルの変化やアパート単位で未加入となっている。「メディカルタウン虹のみえる丘」への居住が始まり、自治会形成の醸成に向けた活動を開始した。	まちづくり課	33

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
快適で住みよい環境づくり	多様な住宅環境の整備	空き家バンク成約件数(期間累計)	7件	33件	49件	25件	登録件数が増加しており、成約数も増加したと考えられる。	まちづくり課	34
		住宅取得支援事業による移住・定住者数(期間累計)	34人	176人	216人	300人	目標数値を上回っており、移住や定住を支援する制度として有効性がある。(資料添付)	地域整備課	35
		住宅建設支援事業(リフォーム等)活用件数(期間累計)	114件	444件	541件	600件	目標数値を上回っており、町民ニーズは高い建設施工の需要喚起を促進し、経済支援としても有効である。(資料別添)	地域整備課	36
	総合的な雪対策の充実	除雪アダプト取り組み自治会数	21自治会(申請数)	18自治会	15自治会	30自治会	17自治会から申請があったが、少雪により、15自治会に減少した。来年度も早めに依頼をし、支援していきたい。	地域整備課	37
		除雪オペレーター数	75名	84名	82名	75名	新規オペレーターの育成に要する経費を支援し、人材確保を後押ししている。オペレーターの作業効率と事務負担軽減に向けて、今年度GPS除雪管理システムを本格的に導入した。	地域整備課	38
	住みやすい環境づくりの推進	1人当たりの生活系ごみ排出量(り災除く)	458g	498g	468g	389g	町民の人数は減っているが、一人当たりの量がそれほど減っていないため、町民一人ひとりがごみを減らす意識の定着を進めていく。	住民課	39
		資源化率【資源物/生活系ごみ+資源物】(り災除く)	9.0%	10.1%	10.1%	15.0%	前年に比べ生活系ごみは減少しているが、資源化についてはそれほど進んでいないと推察される。	住民課	40
	暮らしを支えるインフラの維持	水道有収率	77.5%	77.1%	81.9%(R6.2月末現在)	82.0%	漏水調査による不明水の発見に努めたことにより、有収率が向上した。	地域整備課	41
		水洗化率	70.7%	73.4%	73.6%	80.2%	水洗化率は微増しているが、普及啓発等の水洗化率向上の取り組みが不足していたため、目標に届いていない。	地域整備課	42
	時代に応じた都市機能づくり	医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	メディカルタウン計画区域内の定住人口	163人	255人	275人	311人	R5.3.31現在 松森(108人)桧(147人) R6.3.31現在 松森(108人)桧(167人) (参考) R6.4.30現在 松森(108人)桧(174人) ※メディカルタウン分譲地11世帯居住	政策推進課
中心市街地の活性化		羽前小松駅を中心とした活性化事業参加者数	6,875人	12,770人	10,650人	7,300人	昨年度より参加者数は減少したが、色々な事業と連動し、予定していたイベントをすべて実施でき、また猫駅長が参加者増加に大きく貢献している。	まちづくり課	44

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
安全で機能的な交通ネットワークづくり	幹線道路ネットワークの整備促進	国道287号川西バイパス第1工区の整備進捗率	42.0%	88.3%	100%	100%	今年度、供用開始した。	地域整備課	45
		梨郷道路の整備進捗率	62.0%	81.0%	100%	100%	今年度、供用開始した。	地域整備課	46
	生活道路等整備促進	羽前小松駅を中心とした活性化事業参加者数	6,875人	12,770人	10,650人	7,300人	昨年度より参加者数は減少したが、色々な事業と連動し、予定していたイベントをすべて実施でき、また猫駅長が参加者増加に大きく貢献している。	まちづくり課	47
	生活公共交通の確保	デマンド型乗合交通利用者数	8,275人	7,562人	7,868人	8,500人	コロナ5類への移行により、外出者が増加したためと思われる。	まちづくり課	48
		羽前小松駅利用者数	6,598人	3,881人	3,927人	6,500人	コロナ5類への移行により、外出者が増加したためと思われるが、少子化による定期利用者の減少や区間運休により、コロナ禍前と比べ低迷傾向にある。	まちづくり課	49
安全で安心な暮らしづくり	防災体制の充実	支援者が選出された要支援者の割合	99.0%	98.9%	98.3%	100%	要支援者登録:117人中115名選出済	福祉介護課	50
		町養成防災士数(期間累計)	1人	11人	21人	10人	地区別に登録人数に差があるが町内全地区に防災士が存在することになった。	安全安心課	51
	安心な生活環境づくりの推進	町内交通事故発生件数(暦年)	45件	36件	33件	30件	啓発等により、事故発生件数は昨年度と横ばいとなった。また、平成29年8月より交通死亡事故ゼロも継続している。	安全安心課	52
		危険空き家件数	26件	44件	43件	20件	解体実施に伴い減少した。	安全安心課	53

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
豊かさをもたらす強い農業づくり	戦略的農業経営の確立	川西産米1等米比率	95.0%	94.7%	67.8%	98.0%	夏以降の異常高温や雨不足により生育及び品質・不良となった。	産業振興課	54
		重点作物作付面積	82.5ha	107.3ha	96.2ha	100.0ha	枝豆の不作により、大豆へ移行してするなど数値が動いている。	産業振興課	55
		繁殖牛(成牛)飼養頭数	839頭	875頭	835頭	1,200頭	畜産農家の高齢化や担い手不足により頭数が減少している。	産業振興課	56
	安定した生産体制の確立	認定新規就農者数(期間累計)	1人	5人	8人	10人	事業承継がすすんでいる。	産業振興課	57
		認定農業者及び人・農地プラン中心となる経営体への集積率	68.0%	70.2%	70.1%	75.0%	農地集積率は、認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者、集落営農組織の経営面積の合計から算出しているが、そうした担い手への新規集積が進んでいるものの認定農業者の減少や集落営農組織の解散等の減少要素もあるため実績数値が伸びていない。	農地林務課	58
相互に連携する産業づくり	産業間ネットワークの促進	産業フェア出展事業所数	20社	0社	12社	25社	コロナ明けであったため、参加企業が減少した。	産業振興課	59
	賑わいのある商業の振興	産業フェア来場者数	1,500人	0人	500人	4,500人	3年ぶりの開始や当日の降雨により、参加者が大きく減少した	産業振興課	60
		空き店舗を活用した起業件数(期間累計)	1件	1件	1件	5件	中心地での起業の動きがおきている。	産業振興課	61
	ものづくりを育む工業の振興	企業支援事業による支援件数	15件	5件	4件	20件	創業促進事業2件 個別相談2件	産業振興課	62
多様な仕事を生み出す戦略づくり	企業誘致の促進	企業誘致件数(期間累計) メディカルタウン 尾長島工業団地	1件	5件	6件	9件	R2 おきたまフラワークリニック R4 いなげ内科呼吸器内科医院 R4 置賜・整形外科まつきクリニック R4 なないろ薬局 R4 ツルハ置賜病院前店 R5 ヤマザワ川西メディカル店	政策推進課	63
	起業者の発掘・育成	創業・起業件数(期間累計)	4件	11件	13件	15件	少数ながら着実に事業が進んでいる。	産業振興課	64
	産学官金労言連携の促進	置賜農業高等学校が開発した商品数(累計)	14品	18品	18品	17品	今年度は、新たに開発まで進んだ商品はなく、商品開発を視野にいた、前段のプロジェクトを推進している。	まちづくり課	65
	再生可能エネルギーの利活用	再生可能エネルギー導入件数(固定価格買取制度における導入件数)	234件	265件	276件 (2023.12現在)	300件	資源エネルギー庁で公開している自治体データであるため、件数の増加については推測となるが、地球温暖化が顕著となっており、脱炭素の機運が上がっていること、昨今の電気料値上げにより再生可能エネルギーに対する関心が高まっていると考えられる。	住民課	66

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

施策の柱	施策	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添可	記載・確認担当課	KPI No.
魅力ある観光づくり	ふれあいの丘の機能 充実	ダリヤ園入園者数	45,318人	17,632人	34,162人	67,000人	夏季の高温の影響により入園者が減少した。	産業振興課	67
		浴浴センターまどか利用者数	130,924人	98,970人	110,379人	140,000人	コロナの5類移行を受けて、利用者が順調に回復し、 また増加している。	産業振興課	68
		パークゴルフ場利用者数	11,785人	17,186人	16,654人	12,000人	夏季の高温の影響により利用者が減少した。	産業振興課	69
	広域的な観光資源活 用と連携強化	広域連携による取り組み数	9件	10件	12件	10件	各種観光キャンペーンによる取り組み	産業振興課	70
	効果的な観光情報発 信の強化	観光関連SNSフォロワー数	1,289件	7,968件	8,945件	5,000件	写真コンテストなどSNSを活用したキャンペーン効果 により増加している。	産業振興課	71
効果的で効率的な行 政運営づくり	公共施設の計画的な 整備	公共施設数	55施設	56施設	56施設	52施設	今年度は、除却施設はないため、前年と同じ数となっ ている。	まちづくり課	72
	行財政改革の推進	RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション) 等の導入業務数	0業務	4業務	5業務	5業務	税務関係業務での導入、活用を図った。 原課での理解浸透に向けて、人材育成を進める必要 がある。	総務課	73
	広域行政の推進	置賜定住自立圏で具体的検討が進められてい る取り組み数	11取組	14取組	14取組	14取組	置賜定住自立圏共生ビジョンで定める14の取り組み の計画のもと推進するとともに、より時宜にかなった 内容となるよう第2次共生ビジョン(令和6年度スター ト)を策定を行った。	まちづくり課	74

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

プロジェクト	戦略	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
メディカルタウン整備 推進プロジェクト	☆数値目標	メディカルタウン重点整備区域の開発整備進捗率	0%	29.9%	29.9%	48.6%	開発面積 商業:34,602㎡中14,296㎡(41.3%) 住宅:31,835㎡中7,599㎡(23.9%) 公共:6,813㎡中0㎡(0%)	政策推進課	75
	戦略① 定住人口の創出	メディカルタウン計画区域内の定住人口	163人	255人	275人	311人	R5.3.31現在 松森(108人)松(147人) R6.3.31現在 松森(108人)松(167人) (参考) R6.4.30現在 松森(108人)松(174人) ※メディカルタウン分譲地11世帯居住	政策推進課	76
		定住促進住宅分譲地成約件数	-	11件	16件	17件	R6.2.29現在 分譲地成約件数	政策推進課	77
	戦略② 民間施設の誘致促進	メディカルタウンへの民間医療施設誘致件数 (期間累計)	1件	2件	3件	2件	R2 おきたまフラワークリニック R4 いなげ内科呼吸器内科医院 R5 置賜・整形外科まつきクリニック	政策推進課	78
		メディカルタウンへの商業施設等誘致件数(期 間累計)	-	2件	3件	6件	R4 なないろ薬局 R4 ツルハ置賜病院前店 R5 ヤマザワ川西メディカル店	政策推進課	79
地域経済活性化プロ ジェクト	☆数値目標	農業産出額(みなし)	64.1億円 (直近3か年平均)	50.0億円	52.5億円	65.5億円	別紙のとおり	産業振興課	80
		企業誘致件数(期間累計)	1件	5件	6件	9件	R2 おきたまフラワークリニック R4 いなげ内科呼吸器内科医院 R4 置賜・整形外科まつきクリニック R4 なないろ薬局 R4 ツルハ置賜病院前店 R5 ヤマザワ川西メディカル店	政策推進課	81
	戦略① 農業所得の向上と担 い手の育成	米産出額(みなし)	37.1億円 (直近3か年平均)	28.4億円	32.3億円	37.5億円	別紙のとおり	産業振興課	82
		園芸産出額(みなし)	14.3億円 (直近3か年平均)	8.4億円	8.5億円	15.0億円	別紙のとおり	産業振興課	83
		畜産産出額(みなし)	12.7億円 (直近3か年平均)	13.2億円	11.6億円	13.0億円	別紙のとおり	産業振興課	84
		認定新規就農者数(期間累計)	1人	5人	8人	10人	事業承継がすすんでいる。	産業振興課	85
		農業研修生数(期間累計)	1人	3人	3人	5人	現状維持	産業振興課	86
		農業法人組織数	24団体	34団体	35団体	35団体	個人経営から法人への移行が進んでいる。	産業振興課	87
	戦略② 雇用の創出	創業・起業件数(期間累計)	4件	11件	13件	15件	少数ながら着実に事業が進んでいる。	産業振興課	88
		森のマルシェ出荷登録数	181件	218件	230件	230件	6次化推進員の呼びかけにより増加してる。	産業振興課	89

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

プロジェクト	戦略	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
地域経済活性化プロジェクト	戦略③ 魅力ある観光	ダリヤ園入園者数	45,318人	17,632人	34,162人	67,000人	夏季の高温の影響により入園者が減少した。	産業振興課	90
		森のマルシェ来店者数	195,169人	227,029人	253,003人	250,000人	コロナ禍も落ち着いたため、来店者が増加している。	産業振興課	91
	戦略④ 中心市街地の活性化	羽前小松駅を中心とした活性化事業参加者数	6,875人	12,770人	10,650人	7,300人	昨年度より参加者数は減少したが、色々な事業と連動し、予定していたイベントをすべて実施でき、また猫駅長が参加者増加に大きく貢献している。	まちづくり課	92
移住・定住・交流促進プロジェクト	☆数値目標	人口の社会増減(転入者－転出者)	▲107人 (直近3か年平均)	▲138人	▲87人	±0人	基準値より減少数は低下したが、目標値には届いていない。	まちづくり課	93
		女性の社会増減(転入者－転出者)	▲48人 (直近3か年平均)	▲69名	▲39人	±0人	前年度は男女同比率での転出超過だったが、今年度は女性割合が44%と転出割合として女性比率が下がった結果となった。	まちづくり課	94
	戦略① 若者世代の定着	結婚支援事業による成婚数(期間累計)	2組	2組	2組	5組	ハッピーサポートセンターの会員数17名中、男性14名、女性3名となっており、女性会員の増加が必要である。	まちづくり課	95
		出生者数	82人	61人	45人	100人	過去10年の最低の出生数。社会情勢と同じく様々な要因が考えられる。	まちづくり課	96
	戦略② 移住・定住支援の充実	転入者アンケートによる移住者数(期間累計)	—	147人	287人	300人	目標値に向け着実に推進しているが、移住定住に向けた取り組みとアンケート回答への呼びかけを促進する。	まちづくり課	97
		住宅取得支援事業による移住・定住者数(期間累計)	34人	176人	216人	300人	目標数値を上回っており、移住や定住を支援する制度として有効性がある。(資料添付)	地域整備課	98
	戦略③ 暮らしやすいまちづくり	デマンド型乗合交通登録者数	1,613人	1,543人	1,548人	1,650人	制度周知(町報3回)により、登録者が微増したものと考えられる。	まちづくり課	99
	戦略④ 交流・関係人口の拡大	ふるさと納税者数	1,917人	7,964人	9,703人	10,000人	別添「令和5年度川西町ふるさとづくり寄附金」	産業振興課	100
		町公式SNSフォロワー数	1,574件	4,676件	4,928件	5,200件	全媒体について、継続的な投稿により登録者数が増加した。	総務課	101

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

プロジェクト	戦略	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
男女共同参画推進プロジェクト	☆数値目標	積極的に育児に参加している父親の割合(乳幼児健診アンケート)	63.5%	74.1%	79.3%	80.0%	父親が育児休業を取得する環境になりR4年度に比べると増加しているが目標値には達しなかった。夜間勤務などの不規則勤務、仕事が忙しく育児時間がとれないといった育児に参加できない理由がきかれた。	健康子育て課	102
		審議会・委員会の女性委員比率	21.2%	24.6%	23.9%	30.0%	各課において、着実に女性委員の登用が図られているが、更に目標値を意識して選出する必要がある。	まちづくり課	103
	戦略① 男女共同参画意識の醸成	女性委員を含む審議会・委員会の比率	70.8%	96.2%	96.3%	100%	監査委員のみ女性委員がいないが、議会選出に委ねられる部分もあることから、ほぼ目標を達成している。	まちづくり課	104
	戦略② 能力を發揮し活躍できる環境の整備	待機児童数	0人	0人	0人	0人	保育ニーズに対する、施設入所受け入れができた。	健康子育て課	105
		放課後児童クラブ利用児童割合	36.3%	38.80%	42.2%	40.0%	年々、放課後児童クラブの利用率は高まっている。今後は、利用者の負担軽減のみならず、支援員の処遇改善も検討し、子育て環境の充実を今後も推進していく。	教育文化課	106
	戦略③ 健康で豊かに暮らせる環境の整備	自治会未加入世帯数	49.6%	53.1% (R3法定報告)	54.4%	60.0%	受診率向上のために、土曜日の人間ドックの実施に取り組んだことによるものと考え。	健康子育て課	107
		総合型地域スポーツクラブ登録者数	282人	150人	226人	350人	コロナ明けにより、各種教室の実施が可能になったことにより増加した。	教育文化課	108

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

プロジェクト	戦略	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
町民総活躍プロジェクト	☆数値目標	平均自立期間(男女平均)	81.05歳	81.65歳	81.7歳	81.80歳	目標値に近づいており保健事業と介護予防の一体的実施に取り組む	健康子育て課	109
		地域おこし協力隊任期終了後の定着者数(累計)	10人	10人	10人	21人	報酬額が県内において最低レベルである。受入団体とのマッチングに向けて、おとし協力隊制度も含めた周知が必要である。	まちづくり課	110
	戦略① 多様な人材の活躍促進	新規認定女性農業者数(期間累計)	1人	6人	8人	5人	農業現場での女性の参画が増えてきている。	産業振興課	111
		シルバー人材センター会員数	137人	123人	123人	160人	新規11名退会11名	産業振興課	112
	戦略② 生きがいづくりと健康寿命の延伸	平均自立期間(男性)	78.4歳	79.8歳	79.7歳	80.1歳	高齢化率が39%を超えた当町において、男性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	113
		平均自立期間(女性)	83.7歳	83.5歳	83.7歳	84.0歳	高齢化率が39%を超えた当町において、女性の高齢者の生活環境の改善、食生活・栄養状態の改善、医療技術の進歩、健診受診率向上、百歳体操の社会参加等により早期予防や介護・認知症の予防を通じて平均自立期間が延伸し、目標が達成したと考えられる。	健康子育て課	114
		総合型地域スポーツクラブ登録者数	282人	150人	226人	350人	コロナ明けにより、各種教室の実施が可能になったことにより増加した。	教育文化課	115
		生涯学習関連講座参加者数	2,100人	1,178人	1,178人	2,500人	多分野にわたり受講申請があり講座を開催したが、未だコロナ前のような受講者には至らなかった。	教育文化課	116
	戦略③ 置賜農業高等学校の魅力化	入学者数	88人	66人	44人	80人	少子化の影響により入学者数が低迷している。R6年度入学者より今の3学科から2学科に再編されることから、入学者増につながる取組が求められている。	まちづくり課	117
		卒業後の置賜への就職率	51.0%	44.9%	49.1%	52.0%	昨年度より数値は上がったが、目標値には到達していない。一定数進学を希望する生徒もいる状況ではあるが、より地元就職につながる取組推進が必要である。	まちづくり課	118

かわにし未来ビジョン後期基本計画 令和5年度分「KPI一覧」

プロジェクト	戦略	KPI等	基準値(R1実績)	R4実績 (参考)	R5実績	目標値(R7)	実績に対する考察 ※資料別添も可	記載・確認担当課	KPI No.
安心して暮らせるまちづくりプロジェクト	☆数値目標	町養成防災士数(期間累計)	1人	11人	21人	10人	地区別に登録人数に差があるが町内全地区に防災士が存在することになった。	安全安心課	119
		行動計画を策定している自主防災組織数	－	5組織	5組織	7組織	自主防災組織連絡協議会等において策定を促している。	安全安心課	120
	戦略① 災害に強いまちづくり	登録制メール登録者数	743人	410人	445人	1,500人	一斉情報配信システムの運用開始により登録制メール以外の手段(LINEや戸別受信機等)も導入し情報発信に努めているため大きな伸びはない。	安全安心課	121
		各地区自主防災組織独自の防災訓練及び研修会の実施数	10回/14回	10回/14回	11回/14回	14回/14回	出前講座等を利用し学びの場を作る地区の動きが見られた。	安全安心課	122
		長寿命化修繕計画に基づく修繕橋梁数(期間累計)	1橋	2橋	13橋	5橋	法令に基づく橋梁点検を継続し、優先度に応じて計画的に改修整備を実施した。	地域整備課	123
		水道管路耐震化率(町内基幹管路のうち耐震適合性配水管)	22.4%	24.5%	25.0%	25.0%	交付金事業により、石綿管の更新を行ったことにより、耐震化率が向上した。(L=330m)	地域整備課	124
	戦略② 感染症等による新たな日常への対応	レンタルオフィスやコワーキングスペース設置数	－	0箇所	0箇所	2箇所	公共施設を用いたオープンスペースの情報収集を行い、その結果を分析した後に設置の推進を検討していく。	まちづくり課	125
		新型コロナ対策宣言店数	－	59店	(59店)	52店	令和5年度は新規取り組みなし	産業振興課	126